

## TypeKey と FOAF による認証

### 準備

- ・ Wiki#can\_show にパッチを当てる必要
- ・ プラグイン名はとりあえず project。

FOAF 指定ページを用意し、管理者編集・閲覧権限にしておく

- ・ 記述方法

\* プロジェクト名 , [FOAF の URI] , 深さ

この指定ページ名自体は config が何かに書いておく。プロジェクト名に対応する foaf ファイルを管理者は指定する。深さは FOAF の knows を辿る深度。0 ならその URI に記載されている knows までということ。

FOAF の Person は TypeKey を利用してプロジェクト名に属するページを閲覧・編集できる（下記参照）。

これで（深さが許される限り）URI 及び knows の seeAlso 先の foaf ファイルを編集できる人は、そのファイルに knows に加えることで、新たにプロジェクト名に対応する編集権者を設定できる。

#### 新規ページ作成、編集時

新規ページの先頭に

```
{{project プロジェクト名}}
```

としておく。

ページを save する際に、project プラグインが機能し、typekey によってセッションログに記された mbox\_sha1sum が FOAF 指定ページの project に対応する uri（及びその knows な Person の seeAlso 先）に存在するかチェック。存在すれば save 完了。また、管理者編集・閲覧のみで設定される。

- ・ {{project}} を外すと普通のページになる。
- ・ {{project}} は category プラグインと同等の機能を有する。

#### 閲覧時

typekey によってセッションログに記された mbox\_sha1sum が FOAF 指定ページの project に対応する uri（及びその knows な Person の seeAlso 先）に存在するかチェック。存在すれば閲覧可能。

#### その他

- ・ 実用のためには認証された人物のデータを一定時間キャッシュしておく。その間は uri をチェックしないでキャッシュをみる。
- ・ save\_before フックを利用して、project カテゴリを外すさいには、一度意思確認するようになりたい。